



春を呼ぶ一休さんの言葉 第3章

「人も我が身も よそならず」

令和元年暮れから発生が確認された新型コロナウイルスは、3年半をまた
にかけ世界中で猛威を振るいました。日本では多い地域で緊急事態宣言が計
4回発令されました。明治10年コレラが日本で大流行した時と同じくらい、
歴史に大きく刻まれる出来事でした。私たちは今迄スキンシップやコミュニ
ケーションをとる為に対話、会食、催事を大切にしてきました。✿✿✿

ある意味この3つは私たちが社会で暮らす為に欠かせない要素なのです
が、これを止めろ、密集、密接、密閉がだめだといい、長い間私たちが積み
重ねて来た伝統と文化が一気に崩れてしまったのです。それからは誰とも会
話せず、一人で食事をし、人混みを避け、ネットやスマホだけで情報を得て、
一人で行動をしていかなければならなくなりました。✿✿✿✿✿✿

こうして人間関係が疎遠化した中で、人はどんな社会を作っていくのか、
人としての楽しみがなくなり、今後どんな形で人と人との繋がりが保てるの
か、とても気になる所でした。これからはコロナと共存するウィズコロナの
時代に突入して行くと言われていきます。ワクチンや治療薬が開発されたから
といって、アフターコロナという訳ではありません。✿✿✿✿✿✿

コロナは世の中の仕組みや経済に大きな影響をもたらしたので、これまで
の生活スタイルに戻らないのでは、とも言われています。その一方で在宅勤
務が増え、働き方が改善された業種もあります。自分がリラックスできたり
楽しめる時間を持つことを意識的に行ってみて下さい。環境の変化は、自分
自身に気付くと、一歩踏み出すエネルギーをもたらすかもしれません。✿

トンチで有名な一休さんに「思い入れば 人も我が身も よそならず 心
の他に 心なければ」(水鏡47)という言葉があります。自分も他人もよ
そごとではないということです。今の状況に落胆せず、できることを地道に
行い、上手にコロナと共存して、今を乗り越えて行きましょう。今後人間の
楽しみや希望、夢のある世界が一日でも早く回復することを願っています。

令和5年5月19日 ✿✿✿✿✿✿✿✿ 大宝山 萬善寺